

愛環
行こう

徳川家康公ゆかりの地、大河ドラマの舞台

岡崎市・豊田市

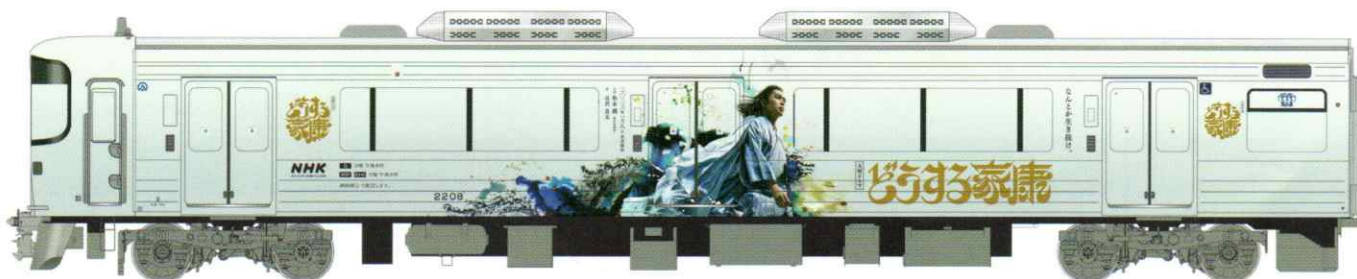
岡崎市と豊田市はかつて三河国であり、大河ドラマ「どうする家康」の主人公徳川家康公が生まれ、青年期を過ごした地です。徳川家とその前身、松平家ゆかりの地を愛知環状鉄道で巡り、激動の時代を生き抜いた家康公の決断に想いをはせる。そんな楽しみ方はいかがでしょう。

徳川家康公ゆかりの地 MAP



大河ドラマ「どうする家康」ラッピングトレイン 1 月 28 日(土)運行開始!

※運行情報は愛知環状鉄道ホームページをご確認ください。



岡崎市



豊田市



愛知環状鉄道





岡崎公園



岡崎城・大河ドラマ館

中岡崎駅から徒歩 10 分

大河ドラマ館



家康公生誕の地 桜の名所

岡崎城は徳川家康公が生まれた城で、天下統一という偉業の基礎を固めた場所です。現在は歴史資料館となっており、1月21日のどうする家康 岡崎 大河ドラマ館のオープンに合わせてリニューアルしました。城下の岡崎公園は、春に桜まつりが開催される桜の名所です。



伊賀八幡宮

北岡崎駅から徒歩 10 分



徳川家の守護神 蓮の名所

伊賀八幡宮は家康公が大きな合戦の時には必ず参詣したといわれ、徳川家の武運長久・子孫繁栄の守護神とされています。初夏には蓮の花も開花し、撮影スポットとしても人気です。



大樹寺

大門駅から徒歩 17 分



松平家・徳川家の菩提寺 歴代将軍の位牌

大樹寺は戦に敗れた家康公が逃げ帰り、自害を試みた際に住職から「太平の世を目指す」教えを受け、思いとどまったと伝わるお寺です。歴代将軍の位牌、家康公73歳の時の木像などが祀られているほか、山門から岡崎城の天守を望むことができます。



六所神社

中岡崎駅から名鉄電車で 2 分（東岡崎駅下車）



極彩色の楼門 安産の神様

六所神社は松平家・徳川家の崇敬が篤く、現在も「安産の神様」として信仰されている神社です。家康公誕生の際には、松平氏の産土神としての拝礼があったと伝わります。



しょうおうじ

松應寺

北岡崎駅から徒歩 18 分



家康公手植えの松 昭和の街並み

松應寺は家康公がこの地に眠る亡き父、松平広忠公のために植えた松が後年、岡崎城主として戻った際に緑深く伸長したことを喜び、名付けられたお寺です。境内の建物は古きよき昭和の雰囲気を感じられる名所となっています。



松平東照宮・高月院

新豊田駅からおいでんバスで 40 分（松平郷下車）



家康公の祖先、松平氏発祥の地・松平郷

松平東照宮は、家康公と松平氏初代の親氏公をお祀りしています。境内には家康公誕生の際に用いた産湯の井戸があり、その水は不老長寿の御利益があるといわれています。高月院は松平家の菩提寺で、ご本尊の阿弥陀如来の左右に家康公と親氏公の位牌が祀られています。山門や本堂は、1641年に3代将軍家光公の命により建てられたと伝わっています。



守綱寺

しゅこうじ すいおういん
守綱寺・隨應院

新豊田駅から名鉄バスで 5 分（豊田北高前下車）

隨應院



家康公初陣の地 徳川十六神将 渡辺守綱公



家康公初陣は寺部城攻めと言われ、後にこの地は渡辺家の領地となります。守綱寺は家康公から「槍の半蔵」の名を受けた守綱公を初代とする渡辺家の菩提所で多くの文化財が残ります。隨應院は渡辺家夫人の墓所があり、初夏には蓮の花が咲き参道を彩ります。

りんしょうじ

隣松寺

三河上郷駅から徒歩 17 分



家康公とのつながりが多く残されるお寺

隣松寺は、家康公が一向一揆の際、酒井忠尚の居城・上野城攻めの本陣とした場所と伝わります。境内には家康公が戦勝を祈願したと言われる稲荷明神のほか、一揆の際に背負って逃げてきたと伝わる「雲版」を見ることができます。



上野城

三河上郷駅から徒歩 10 分



徳川四天王 榊原康政公生誕の地

現在見られる上野城跡は、上野上村城といい1400年代頃に戸田宗光が築城したと伝わります。徳川四天王で知られる榊原康政公生誕の地は、ここから300m南の地の上野下村城と言われ現在は住居地となっています。



「あいち家康戦国絵巻」でさらにチェック！

徳川家康公ゆかりの地はまだたくさん



おだいちゃん



いえやすくん



ただつくん

愛知県大河ドラマ「どうする家康」
観光推進協議会 PR キャラクター